



水辺の楽校

NEWS

2017冬 vol.18

生き物王国化プロジェクト

エコスタックづくり

1月15日(日)



水をかけ、発酵を促進させます



氷の鏡！

寒い一日でした。

霜柱が元気で、キラキラと輝いていました。

コンクリートに覆われた街中では見られない光景に、ちびっ子達もきれい、きれいとお騒がせでした。

新トンボ池で、誰かが氷に閉じ込められているハイイロゲンゴロウを見つけました。氷の下を元気に泳ぎまわる個体もありました。

三森先生の「凍結しても体液が凍らないから、氷が溶けると元気に泳ぎ出すよ」との説明にみんなびっくり。

小さなゲンゴロウを見る目が変わりました。

生き物を観察した後は、みんなで落ち葉堆肥作り。竹を切って生垣を作り、集めた落ち葉を入れ、糠を降り、踏み込みます。落ち葉と糠をサンドイッチ状に交互に入れ、さらに踏み込み、水をかけ、発酵を促進させます。

「来年の春にはカブトムシがいっぱいかもよ」の声に、踏み込にも力が入ります。

糠にまみれ、落ち葉にまみれ、汗にまみれ、熱中、エコスタックづくりの一日となりました。

※参加者27人

(子供9、大人10、講師2、スタッフ6人)